

パナソニック(株)

製品種類: テレビ

機種名: TH-55JX950

販売年度: 2021年



評価項目(アセスメント評価項目)

番号	取組項目	説明
1	減量化・減容化	✓
2	再生資源・再生部品の使用	
3	包装	
4	製造段階における環境負荷低減	
5	輸送の容易化	
6	使用段階における省エネ・省資源等	✓
7	長期使用の促進	
8	収集・運搬の容易化	
9	再資源化等の可能性の向上	
10	手解体・分別処理の容易化	✓
11	破碎・選別処理の容易化	
12	環境保全性	✓
13	安全性	✓
14	情報の提供	
15	LCA (ライフサイクルアセスメント)	

製品アセスメントの概要

液晶テレビの品質・性能・機能向上を図ると共に、製品アセスメントを通し、設計段階から廃棄に至るまでのライフサイクルを鑑み、プリント基板の小型化/省エネ回路設計や廃棄後の環境負荷視点で特定可塑材の使用禁止等で環境面や転倒防止構造で安全面に配慮した製品づくりを目指している。今回はシステムLSIの小型化・集積化・省エネ化の技術進化により、さらに統合化が進んだSoCを新たに採用し減量化・減容化を実現した。

改善の具体的内容

[] 中の数字は関連する評価項目の番号です。

1. 安全性 [13]

地震に強く、倒れにくい吸着式の「転倒防止スタンド」を継続採用。スタンド底面に設置面から離れる力が働くとテレビ台にしっかり吸着し転倒を防ぐ。また、吸着操作スイッチにより吸着解除が可能。

2. 手解体・分別処理の容易化 [10]

転倒防止スタンドの市場導入時比で、部品点数を削減したスライドスイッチを継続採用。

3. 減量化・減容化 [1]

【新規】

新システムLSI採用によりLSI数削減 (2石→1石)、プリント基板の小型化 (63497mm²→54812mm²、約13%削減) を実現。また、熱源のLSIを削減により放熱フィンの小型化 (155g→103g、約33%削減) を実現。※

4. 使用段階における省エネ・省資源等 [6]

「エコナビ」による以下の節電機能を継続採用。
・部屋の明るさを検知し自動的に画面の明るさを調整 (明るさセンサー機能)
・映像信号がない場合は自動で電源オフし、テレビの消し忘れによる無駄な電気も節電 (無信号自動電源オフ機能)

5. 環境保全性 [12]

J-Mossに対応すると共に、特定可塑材 (DIB、DBP、BBP、DEHP) の不使用を継続。

※比較対象機種: TH-55HX950

構造等の図

転倒防止スタンド

揺れによる薄型・大画面テレビの転倒を防止。

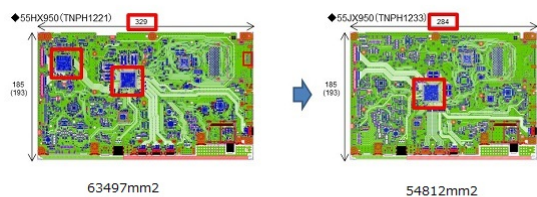
スタンド底面が設置面から離れる力がはたらくと、吸着する独自構造です。

吸着オン/オフは、スイッチ操作で簡単。

スタンド内部構造(イメージ)

転倒防止スタンド

減量化・減容化 取り組み内容



プリント基板の小型化

「明るさセンサー」機能 ECONAVI

お部屋の明るさに合わせて、映像を自動調整して節電

明るい昼間は、くっきり 落ちついた夜は、まぶし過ぎない見やすい画質に

ECONAVI 明るさセンサー

ECONAVI 明るさセンサー

エコナビデータ